



インフラの維持管理や更新、マネジメント技術を検証している岐阜大学SIP実装プロジェクト（六郷恵哲研究代表）は4日、第8回フィールド試験を行った。県内の研究機関や高校生など約75人が参加した。

今回は大垣市の協力で、国の重要文化財にもなっている揖斐川に架かる旧揖斐川橋梁（旧式トラス橋）の右岸側（大垣市新開町）で体験型の点検試験を行った。写

## 「体験型」で実施

岐大SIP実装  
PJフィールド試験

真。

技術的内容を机上で受  
けた一行は橋梁に移動  
し、実際に行われている  
点検ロボットや点検内容  
を見学した。

試験対象は、▽橋梁点  
検ロボットカメラなどの  
機器を用いたモニタリ  
ングシステムの創生（三井  
住友建機）▽橋梁点検カ  
メラシステム「視る・診  
る」（シビル調査設計）  
の2技術。参加者は実際  
にロボットカメラの操作  
を体験した。